



平成29年7月21日  
海上保安庁

## 東京湾の環境一斉調査を実施します！

～みんなで知ろう！東京湾！～

東京湾環境一斉調査（後援：一般社団法人日本経済団体連合会）は、東京湾の全域及び陸域を対象とした調査を通じて、東京湾の汚濁メカニズムを解明することを目的としており、今年で10回目を迎えます。今回は132機関（共通資料別紙1参照）が本調査に参加し、水質調査・生物調査・環境啓発活動等を行います。

今年度は、より多くの方に東京湾とその再生に向けた取組に関心を持っていただくため、一斉調査の中でも「生物調査」に焦点を当て、市民の方にもご参加いただける「干潟調査」を新たに設けて実施します。

### 1. 各調査の実施日

#### ① 水質調査：8月2日（水）

《参加機関数：123 機関》

東京湾の海域及び流域河川の現状を把握するため、水温、溶存酸素量（DO）、透明度、透視度等の測定を実施する調査です。



#### ② 生物調査：7月～9月（参加機関が任意の日程で実施）

《参加機関数：17 機関》

東京湾の海域及び流域河川に生息する水生生物に関する調査を実施し、データを収集します。今年度は、一般市民の方にもご参加いただける「干潟調査」と、企業・官公庁向けの「生物調査」の2本立てで実施します。



調査の詳細については共通資料別紙2をご確認ください。

#### ③ 環境啓発活動及びイベント：7月～9月（参加機関が任意の日程で実施）

《参加機関数：19 機関》

東京湾の海域及び流域河川の水質改善等に関する普及啓発活動を含むイベントを実施します。



活動の詳細については共通資料別紙3をご確認ください。

### 2. 取材申し込み

期限：7月28日（金）15時迄

※ 一斉調査に関する取材は、個別にご相談を受け付けております。ご不明点がございましたら下記申込先までご連絡をお願いいたします。

※ 特に、水質調査では、船舶による調査を行う機関があります。乗船して取材をご希望の報道機関におかれても、申し込み期限までにご連絡をお願いいたします。

《申込先》海上保安庁 海洋情報部 環境調査課 （担当：松坂、久米）

F A X : 03 - 3595 - 3637

E-mail : jcghtokyobay2017@mlit.go.jp

### 3. 結果の公表

本調査の結果については、平成 30 年 3 月末までに下記ウェブサイト概要を掲載する予定です。過去の調査結果についても同ウェブサイトをご参照ください。

【東京湾環境一斉調査 HP】

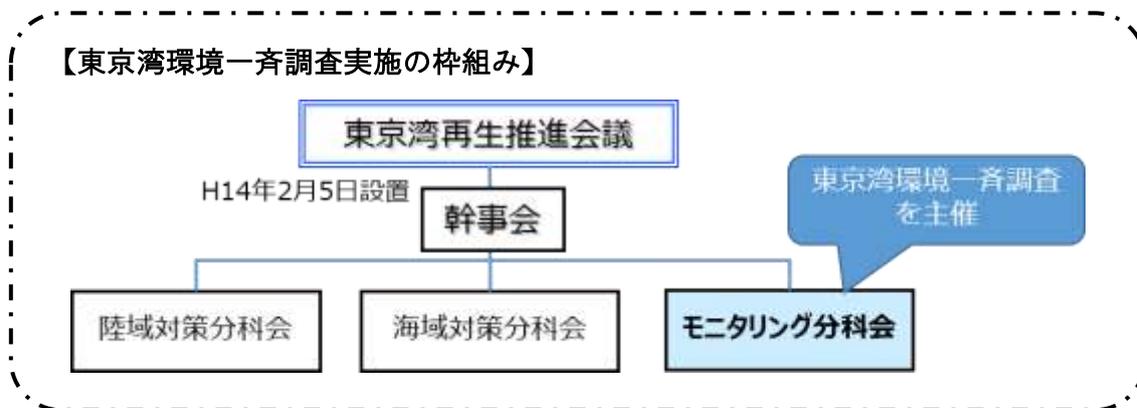
[http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB\\_Renaissance/Monitoring/General\\_survey/index.html](http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/Monitoring/General_survey/index.html)



(参考)

#### 東京湾環境一斉調査実施の枠組み

東京湾環境一斉調査は、関係省庁・自治体が参加し平成 14 年に設置された「東京湾再生推進会議」の「モニタリング分科会」（事務局：海上保安庁、環境省）が主催しています。「モニタリング分科会」は、東京湾再生のための取組みのうち、東京湾の水質等のモニタリングを担当しており、海上保安庁や環境省といった国の機関のほか、流域の地方自治体の環境部局等で構成されています。





平成 29 年 7 月 21 日  
主催：東京湾再生推進会議モニタリング分科会  
九都県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会  
東京湾岸自治体環境保全会議  
東京湾再生官民連携フォーラム東京湾環境モニタリングの推進プロジェクトチーム  
後援：一般社団法人 日本経済団体連合会

## 東京湾環境一斉調査を実施します

(東京湾における流域及び海域の環境一斉調査)  
～参加機関等のお知らせ～

平成 29 年度東京湾環境一斉調査につきまして、平成 29 年 6 月 2 日から参加機関を募集させていただいたところ、7 月 11 日時点で 132 機関（重複除く）から御応募をいただきました。各調査の内容及び参加機関数を次のとおりお知らせいたします。

参加機関一覧は別紙 1、生物調査の一覧は別紙 2、環境啓発活動等のイベントの一覧は別紙 3 を御覧ください。

### 1 水質調査

- ・実施基準日 平成 29 年 8 月 2 日（水）  
予備日 平成 29 年 9 月 6 日（水）
- ・調査内容 東京湾の海域又は流域河川において、次の項目等の調査を行う。  
【海域】水温、塩分、溶存酸素量（DO）、化学的酸素要求量（COD）、透明度  
【陸域】水温、化学的酸素要求量（COD）、流量、溶存酸素量（DO）、透視度
- ・参加機関数 123 機関

### 2 生物調査

- ・実施期間 平成 29 年 7 月～9 月
- ・調査内容 底生生物、魚類など各参加機関が実施する生物調査データを収集
- ・参加機関数 17 機関

### 3 環境啓発活動等のイベントの実施

- ・実施期間 平成 29 年 7 月～9 月
- ・活動内容 水質改善等に関する普及啓発活動を含むイベントの実施
- ・参加機関数 19 機関

※ 参加機関数等は、7 月 11 日時点での申込み数です。

※ 調査・イベントの実施日・実施時期は目安であり、前後する可能性もあります。

### 4 取材の申込み

海域の調査では、船舶による調査を行う機関があります。乗船して取材を御希望の報道機関は、7 月 28 日（金）15 時までに次の連絡先まで FAX 又はメールで御連絡ください。取材内容に応じて、取材可能な参加機関を御紹介いたします。

なお、調査船に同乗する場合には、調査行程に従って取材スケジュール等を調整していただく場合がありますので御承知おきください。

申し込み先：FAX 03-3595-3637 E-mail: [jcghtokyobay2017@mlit.go.jp](mailto:jcghtokyobay2017@mlit.go.jp)  
担当：海上保安庁海洋情報部環境調査課 松坂（まつさか）、久米（くめ）

## 5 結果の公表

東京湾環境一斉調査の結果については、平成30年3月末頃に次のウェブサイトに報告書を掲載する予定です。過去の調査結果及び東京湾再生推進会議の活動についても同ウェブサイトをご参照ください。

[http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB\\_Renaissance/index.html](http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/index.html)

### 問い合わせ先

- 東京湾再生推進会議モニタリング分科会事務局  
海上保安庁海洋情報部環境調査課  
松坂（まつさか）、久米（くめ） 03-3595-3635  
環境省水・大気環境局水環境課閉鎖性海域対策室  
中西（なかにし） 03-5521-8319
- 九都県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会事務局  
相模原市環境経済局環境共生部環境保全課  
秋元（あきもと） 042-769-8241
- 東京湾岸自治体環境保全会議事務局  
神奈川県環境農政局環境部大気水質課  
小原（おばら） 045-210-4123
- 東京湾再生官民連携フォーラム  
モニタリングの推進プロジェクトチーム  
古川（ふるかわ） 03-5157-5235

## 参考

### ○「東京湾再生推進会議」

平成 13 年 12 月に都市再生本部の都市再生プロジェクト（第三次決定）として、水質汚濁が慢性化している大都市圏の「海の再生」を図るため、平成 14 年 2 月に設置されました（構成員は、関係省庁と関係地方公共団体）。平成 15 年 3 月に「東京湾再生のための行動計画」を策定し、平成 25 年 5 月に期末評価を実施しました。平成 25 年からは、「東京湾再生のための行動計画（第二期）」を進めています。

なお、推進会議の下部機関として「幹事会」、「陸域対策分科会」、「海域対策分科会」、「モニタリング分科会」が設けられています。

### ○「九都県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会」

平成元年 6 月の「首都圏環境宣言」を踏まえ、九都県市\*（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）が協調して取り組むべき方策を検討するため、平成元年 11 月に環境問題対策委員会のもとに設置されました。

東京湾の水質改善に係る下水道の整備、富栄養化対策等に関する事項の調査、検討、情報交換等を行っています。

※平成元年当時は六都県市（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市、川崎市）

### ○「東京湾岸自治体環境保全会議」

昭和 48 年 6 月に開催された「東京湾を囲む都市の公害対策会議」において、東京湾の環境保全と広域的対策を図るための早急な機構整備の必要性が提案されたことを受け、昭和 50 年 8 月に設立されました。東京湾岸に面する 1 都 2 県 16 市 1 町 6 特別区の 26 自治体で構成され、住民への環境保全に係る啓発や、連带的・統一的な環境行政の推進を目的に湾岸地域の環境保全に取り組んでいます。

### ○「東京湾再生官民連携フォーラム」

「東京湾再生のための行動計画（第二期）」では、多様な関係者の参画による議論や行動の活発化・多様化を図るための組織の設立が掲げられました。このことから、平成 25 年 11 月に「東京湾再生官民連携フォーラム（以下、フォーラムという）が設立されました。

フォーラムでは、東京湾再生に意欲を持つ多様な人々が集い、現状や課題を理解・共有し、共に解決策を模索し、東京湾の魅力を発掘・創出・発信することにより、東京湾再生の輪を拡げる活動に取り組むこと、そうした活動から育成・醸成された多様な関係者の多様な意見を尊重しつつ総意をとりまとめ、「東京湾再生推進会議」へ提案する役割が期待されています。現在までに「東京湾環境モニタリングの推進プロジェクトチーム」を含め 9 つのプロジェクトチームが立ち上がっています。



- ・ 東京ガス株式会社 根岸 LNG 基地
- ・ 東芝マテリアル株式会社
- ・ 流山キッコーマン株式会社★
- ・ 日油株式会社 川崎事業所
- ・ 日産自動車株式会社 追浜工場
- ・ 日産自動車株式会社 横浜工場
- ・ 日清オイリオグループ株式会社  
横浜磯子事業場
- ・ 日本工営株式会社
- ・ 日本合成アルコール株式会社  
生産本部 川崎工場
- ・ 日本ゼオン株式会社 川崎工場
- ・ 日本乳化剤株式会社 川崎工場
- ・ 日本冶金工業株式会社 川崎製造所
- ・ 日立金属株式会社 熊谷事業所
- ・ 不二ライトメタル株式会社 東日本事業部
- ・ プリマ食品株式会社
- ・ 北海製罐株式会社 岩槻工場
- ・ 三菱ケミカル株式会社 鶴見事業所
- ・ 森永乳業株式会社 東京工場
- ・ 森永乳業株式会社 東京多摩工場
- ・ 谷津干潟ワイズユース・パートナーズ◆★

#### <市民団体など：11 団体>

- ・ NPO 法人 横浜シーフレンズ★
- ・ 生き生き東京湾研究会◆
- ・ 一般社団法人 埼玉県環境計量協議会
- ・ 浦安三番瀬を大切にする会◆★
- ・ 浦安水辺の会★
- ・ 大田区環境マイスターの会◆
- ・ 江東エコリーダーの会◆★
- ・ 高島水際線公園愛護会◆
- ・ 東京湾再生官民連携フォーラム  
東京湾環境モニタリングの推進 PT◆★
- ・ 東京湾をよくするために行動する会◆★
- ・ 認定 NPO 法人  
ふるさと東京を考える実行委員会★

#### <大学：3 機関>

- ・ 東京海洋大学
- ・ 東京大学
- ・ 横浜国立大学大学院◆

#### <研究機関など：4 機関>

- ・ 神奈川県水産技術センター
- ・ 国立研究開発法人 港湾空港技術研究所
- ・ 千葉県水産総合研究センター
- ・ 公益財団法人  
日本海事科学振興財団 船の科学館

#### <地方自治体：33 自治体>

- ・ 神奈川県
- ・ 埼玉県
- ・ 千葉県
- ・ 東京都◆
- ・ 板橋区◆
- ・ 市川市
- ・ 江戸川区
- ・ 大田区
- ・ 春日部市
- ・ 川口市
- ・ 川越市
- ・ 川崎市★
- ・ 北区
- ・ 熊谷市
- ・ 江東区
- ・ 越谷市
- ・ さいたま市
- ・ 狭山市
- ・ 品川区
- ・ 草加市

- 袖ヶ浦市
- 千葉市
- 中央区
- 横浜市★
- 所沢市
- 習志野市
- 西東京市
- 八王子市
- 船橋市★
- 町田市
- 松戸市
- 港区
- 横須賀市

<国：5 機関>

- 環境省
- 水産庁
- 第三管区海上保安本部
- 海上保安庁
- 国土交通省 関東地方整備局◆★

## 平成 29 年度 7 月～9 月に開催される生物調査一覧（実施日順・7 月 11 日現在）

調査域区分	調査場所又は調査海域	調査予定時期	調査内容	主催者
干潟	葛西臨海公園西なぎさ	7 月	干潟	生き生き東京湾研究会
	谷津干潟内	7 月 24 日、9 月 19 日	ベントス調査	谷津干潟ワイズユース・パートナーズ
	三番瀬日の出（浦安）	7 月 23 日	アサリの計測	浦安三番瀬を大切にする会
	多摩川河口羽田空港脇	7 月 22 日～25 日 8 月 21 日～22 日 のうち 1 日	干潟、水生生物	大田区環境マイスターの会
	江戸川放水路河口干潟	8 月～9 月	生物生息状況調査（干潟）	三洋テクノマリン株式会社
	荒川河口部・新砂干潟	7 月 29 日	魚類、底生生物、植物、 鳥類	江東エコリーダーの会
	高島水際線公園・潮入りの池	7 月 1 日、(8 月 5 日)、 9 月 2 日、10 月 7 日	干潟生物調査 エビ調査 マハゼ調査	高島水際線公園愛護会
	海の公園内 22 カ所	7 月 24 日または 8 月 24 日	アサリ	横浜国立大学大学院 環境情報研究院

調査域区分	調査場所又は調査海域	調査予定時期	調査内容	主催者
干潟	横浜技調 潮彩の渚	7、8、9月	アサリの殻長	関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所
	東京湾全域 (候補地：野島、潮彩の渚、扇島 海浜公園、谷津干潟、葛西臨海公 園、三番瀬、千葉港ポートパーク、 養老川河口、盤洲干潟、富津干潟)	4月～9月	江戸前あさり「わくわく」 調査	東京湾再生官民連携フォーラム モニタリング PT 東京湾をよくするために行動す る会 (協力：横浜国立大学、東京水 産振興会、国土技術政策総合研 究所、東邦大学 他)
	東京湾全域	7月～12月	江戸前ハゼ棲み処調査	東京湾再生官民連携フォーラム モニタリング PT 東京湾をよくするために行動す る会 (協力：横浜国立大学、東京水 産振興会、国土技術政策総合研 究所、東邦大学 他)
東京湾内 水面	都内湾 環境基準地点 8 箇所他	8月2日、3日	動植物プランクトン (上位 10 種)	東京都
	東京都内湾	4月～11月	底生生物、魚類(稚魚、成 魚)、付着生物、鳥類	東京都

調査域区分	調査場所又は調査海域	調査予定時期	調査内容	主催者
東京湾内 水面			底生生物の種別個体数 主な種の湿重量	関東地方整備局 東京空港整備事務所
	東京ガス株式会社 袖ヶ浦 LNG 基地 構内全域	8月2日 (予定)	昆虫、植物、鳥類 (種名)	東京ガス株式会社 袖ヶ浦 LNG 基地
河川・河口	多摩川河口域	8月2日	コアマモ	株式会社 日本海洋生物研究所
	汐留川 (浜離宮付近)	7月～9月	生物調査	ココペリプラス
	石神井川 2 地点 白子川 2 地点	7月下旬	魚類、底生生物	板橋区

## 平成 29 年度 7 月～9 月に開催される環境啓発活動等のイベント一覧（実施日順・7 月 11 日現在）

開催場所	実施日	活動内容等	主催 (問い合わせ先電話番号)
葛西海浜公園西なぎさ	7 月 17 日～8 月 20 日	海水浴体験	主催：NPO 法人 ふるさと東京を 考える実行委員会 共催：東京都公園協会、えどがわ 環境財団
葛西海浜公園西なぎさ	7 月 17 日、23 日、30 日、 8 月 6 日、11 日、12 日、13 日、 20 日	里海まつり	主催：NPO 法人 ふるさと東京を 考える実行委員会 共催：東京都公園協会
葛西海浜公園西なぎさ	7 月 22 日、8 月 19 日、 9 月 9 日	西なぎさ発：東京里海エイド	DEXTE-K
ふなばし三番瀬海浜公園	7 月 8 日	三番瀬生き物さがし	船橋市 TEL：047-436-2450
浦安境川	7 月 30 日	親子ハゼ釣り調査 (水辺の活動に対する啓発も含め、 親子釣り教室を実施し、釣果につい て記録する。水質調査などについ て、東京湾官民連携フォーラムのモ ニタリング PT が協力予定)	浦安水辺の会
浦安境川	8 月 26 日	夏休みボランティア (中学高校生を対象に、ボランティ アとしてハゼ調査に参加)	浦安水辺の会

開催場所	実施日	活動内容等	主催 (問い合わせ先電話番号)
浦安三番瀬護岸	8月6日	三番瀬ミニクリーンアップ	三番瀬を大切にする会
谷津干潟内	9月18日	えっさ！ほいさ！みんなで干潟のごみ拾い	谷津干潟自然観察センター
新砂干潟	7月29日	夏の「新砂干潟クリーンアップの自然観察会」	主催：えこっくる江東 運営：江東エコリーダーの会
横浜技調 潮彩の渚	7月25日（予定）	江戸前あさりわくわく調査	横浜港湾空港技術調査事務所
日本丸メモリアルパーク	8月11日	シーカヤック子供体験会	（公財）帆船日本丸記念財団 TEL：045-221-0128
帷子川	8月26日	はまっこアユ遡上プロジェクト	横浜市 TEL：045-671-2489
海の公園管理センター	9月3日、11月5日	海の環境を考える親子講座	公益財団法人 横浜市緑の協会
川崎市	8月7日	平成29年度夏休み環境科学教室 第3回「川崎港乗船体験！」 （船の川崎港を見学するとともに、 海で採取したプランクトンの顕微鏡観察等を実施します。）	川崎市環境総合研究所 TEL：044-276-9001

開催場所	実施日	活動内容等	主催 (問い合わせ先電話番号)
キッコーマングループ全社	6月1日～30日 (環境月間中)	環境標語募集	キッコーマン 環境部
JNC 石油化学 市原製造所	8月2日	クリーンデー (製造所内社員、協力社員による周 辺の清掃活動)	JNC 石油化学株式会社 市原製造所
横浜赤レンガ倉庫	10月20日～22日	東京湾大感謝祭 2017	東京湾大感謝祭実行委員会 ( <a href="http://tbsaisei.com/fes/">http://tbsaisei.com/fes/</a> )